

北上市立
鬼の館
だより

2013. 10
第39号



岩崎鬼剣舞 一人加護
(平成25年8月3日 鬼の館芸能公演より)

平成25年度企画展「私たちの鬼剣舞」開催中！

8月31日(土)～11月17日(日)



「鬼剣舞人形」 那須清一氏 寄贈

北上市を代表する民俗芸能「鬼剣舞」。当館は、鬼剣舞発祥の地に建てられた鬼専門の博物館として、これまで様々な鬼剣舞の歴史等をご紹介してきましたが、本企画展では、鬼剣舞がその芸能の伝承とともに、一つの素材としてどのように成長しどのように受け入れられてきたのかをご紹介しています。あるものは親しみやすいキャラクターになり、あるものは菓子や人形といった市を代表する物産品になりました。そこにはどんな思いと画期があったのか、様々な事例を交えながらご紹介しています。

鬼の館2013 上半期をふりかえって

鬼と玩具と土産もの

「企画展鬼と玩具と土産もの」は、4月27日から8月18日まで開催しました。鬼は、恐れるべき悪鬼として、敬うべき善神として、様々な行事や伝説の中で息づいています。各地では、それをもとに多種多様な玩具や土産ものが生み出され、地域のイメージ作りとともに普及してきました。本展では、鬼の館が収集した全国各地の鬼に関する玩具や土産ものを展示し、子どもの遊び文化や旅行文化の中で誕生した鬼の資料をご紹介します。



「鬼首鬼こけし」宮城県大崎市

大乘神楽大会

第19回大乘神楽大会は6月9日、鬼の館屋外展示スペースにおいて行ないました。天候にも恵まれ、たくさんのお客様にご来場いただき、用意した席が常時満席になるほどの盛況ぶり。会場からは盛大な拍手が送られました。大乘仏教をもとに加持祈禱を行うことから「大乘神楽」と呼ばれ、手次や踏み足、九字などの修験道色を最も濃く残している神楽です。今回は、北上市内の7保存会の出演により、全14演目をご披露いただきました。



「神舞」村崎野大乘神楽保存会

こどもの目わくわくイベント

「わくわくイベント」は5月5日に開催しました。色々なコーナーを用意し、子供から大人まで参加していただきました。鬼剣舞の衣装を身に着ける「鬼に変身」や風船に好きな絵を描く「妖怪風船」、鬼剣舞・カッパのお面に色付けが出来る「お面に色付け」は、時間前から長い列ができました。また、北上少年少女発明クラブの工作コーナーや生涯学習文化課のストライクダーツなど親子で楽しんでいただくことができました。



大人気！鬼に変身！！

夏休みワークショップ

夏休みワークショップは市内小学生を対象に7月27日・8月5日・7日・11日の4日間、行いました。今回は、「鬼剣舞面」「まんげきょう」「冷え冷え妖怪うちわ」を作りました。鬼や妖怪をテーマとした創作活動を楽しみながら、それぞれ個性あふれる作品を仕上げました。中には保護者の方も一緒に参加する姿も見られ、家族そろって楽しめる創作活動になりました。



「冷え冷え妖怪うちわ」づくりに兄妹で参加！

鬼と出会えたかなー？

～逢魔が時ナイトミュージアム～

「逢魔が時ナイトミュージアム」は8月7日から9日の三日間、鬼の館で開催しました。逢魔が時とは、一日が終わろうとする夕暮れ時、まさに魔物に遭遇する時間帯をさします。夜の鬼の館の雰囲気味わっていただこうと、今年初めて企画したものです。三日間をとおして、常設展示のミニ解説会、鬼絵本の読み聞かせを行ったほか、野外ステージでは7日に和賀東中学校吹奏楽部、8日に岩崎鬼剣舞、9日に和賀大乘神楽の公演を行いました。普段は鬼の館に入ると怖がる子どもたちも、「よーめるの会」の皆さんによる鬼絵本や創作紙芝居の話に引き込まれていました。

また、日も落ち、かがり火をたいて行った野外公演は、勇壮、華麗な舞をより引き立たせ、観客を魅了しました。「荒神」を舞った和賀大乘神楽の菊池さんは「踊っていて気持ち良かった」と話していました。



「よーめるの会」の話に引き込まれました



和賀大乘神楽による「荒神」

勇壮、華麗な鬼剣舞を堪能

～第52回北上・みちのく芸能まつり～

北上市の夏の風物詩第52回北上・みちのく芸能まつりは、8月2日から4日までの三日間、市内各所で「鬼剣舞」や「鹿踊」「神楽」などの芸能公演をはじめ、市民パレード、みこしパレード、4日には花火大会が行われました。まつり二日目の3日、鬼の館会場では岩崎鬼剣舞の公演があり、たくさんの鬼剣舞ファンを魅了しました。

この日は、岩崎鬼剣舞だけではなく同保存会から指導を受けている札幌鬼剣舞、京都鬼剣舞、岩崎伝佐渡鬼剣舞のほかTAIKOZ（オーストラリア）も出演し、改めて国内外にアピールする鬼剣舞を感じさせる楽しい公演となりました。公演は3部構成で行われ、1部では岩崎鬼剣舞が刀剣舞、一人加護など4演目踊った後、2部ではそれぞれ得意の「一芸」を披露。3部では、京都、札幌、佐渡鬼剣舞、TAIKOZ合同で三番庭、カニムクリなど4演目を踊り、最後は一番庭を出演者、観客の皆さんで踊ってしめくりました。



最後は観客の皆さんとともに「一番庭」を踊りました



「TAIKOZ」による一芸？披露

学芸ルームから

新収集資料のご紹介

主任学芸員 後藤 美穂

当館では鬼に関する様々な資料の収集を進めていますが、ここで平成24年度に収集した資料の一部をご紹介します。



資料名 「^{よめおど}嫁威し^{にくっ}肉付きの面 記念品」

収集地 福井県あわら市 願慶寺



資料名 「嫁威し肉付きの面 土産面」

収集地 福井県あわら市 願慶寺

福井県あわら市に「吉崎御坊跡」という国の史跡があります。これは、本願寺8代法主蓮如が文明3年(1471)に開いた布教活動の拠点施設跡です。浄土真宗はここから勢力を拡大しその影響力は北陸へと広がっていきました。

収集した2点の面は、この吉崎御坊跡にある願慶寺に伝わる「嫁威し肉付きの面」をモチーフとした資料で、いずれも願慶寺から収集したものです。願慶寺は文明3年に蓮如上人が一夜の宿を求めたことで弟子となった者が開いた寺で、この寺には次のような話が伝わっています。

息子と二人の孫を亡くし嫁と二人きりで暮らす姑がいました。姑はほかに類のないほど欲深いじわるな人で、信心深い嫁が毎日のように吉崎へお参りするのを心憎く思っていました。これをやめさせようと家にあった面をつけて鬼の姿となり道中の嫁を脅したところ、面が取れなくなりました。真実を嫁に話した姑は、嫁に諭され念仏を唱えたところ面が取れたということです。

(「嫁威肉附面縁起」概要)

さて、願慶寺住職の和田重厚氏によりますと、この嫁おどしの事件は文明4年(1472)に起こったとされ、慶長元年(1596)には「嫁威肉附面縁起」の原文が作成され、慶長16年(1611)にはこの由緒書がパンフレットになりました。願慶寺では江戸中期からこの面をもって布教活動を行ったのだそうです。嫁姑の確執が根底にあるこの伝説は広く普及し、お坊さんの説教の題材のほか、大衆芸能の素材となりました。

収集した資料は、それぞれ原寸の4分の1と8分の1に縮小された記念品や土産面ですが、北陸地方の鬼に関する伝説とそれを物語る関連資料ということで収集しました。布教活動のなかで語られたこの伝説の中には、^{けんだんじきけん}慳貪邪見な姑が恐ろしい鬼に変身していく様子が描かれています。

今年8月に開催した逢魔が時ナイトミュージアムの中で、読み聞かせサークルの方が「明治生まれのおばあちゃんから聞いた話」として同じお話を子供たちに聞かせてくれました。時と場所を隔ててなお生き続ける伝説の力を痛感させられました。

鬼カフェ

● No. 1

岩崎鬼剣舞

及川 仁一 さん



膳舞を踊る及川さん

「鬼剣舞は小・中学校と習っていて、一時期辞めていましたが友達に誘われ30歳で再度始めました。先祖代々やっており、踊りは実際に踊って覚えるものだと教えられました。鬼剣舞の発祥の地といわれている岩崎で、これからも誇りをもって続けていきたいと思っています」とお話ししてくださいました。

及川さんは鬼の館の近くで産直一体型のコンビニの店長さんをしています。「お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください」とのことでした！

よろしくお祈いします！



専任研究員の佐藤明子です。花巻市出身の私にとって「鬼」や「鬼剣舞」は未知の世界。更に、皆様に親しまれる施設になるよう勉強していきたいと思います。



専任研究員の新井久子です。私の仕事は主に「わくわくイベント」や「わんぱく講座」です。子供達に上手く指導出来るか不安ですが、楽しんでいただけるよう頑張ります。

着衣体験してみよう!!

鬼剣舞衣装の着衣体験を始めました。衣装は3着、幼児向けです。衣装を着て記念撮影をしてみませんか？

所要時間：20～30分

料 金：無料



※イベント等により体験できない場合があります。お気軽にお声掛けください。

平成25年度下半期のお知らせ

特別展・市民開放事業

企画展示室で自慢の作品を披露してみませんか。彫刻、写真、手芸、絵画など作品の種類は問いません。期間や展示点数もご相談に応じます。日頃の活動の成果を発表する場として、ぜひご活用ください。会期：平成25年12月14日～平成26年3月9日 興味のある方は、11月22日までにお問い合わせください。

鬼学講座 パート17 異界・他界を知る

- ①11月2日「移動学習～葛巻町」
 - ②11月10日「描かれたあの世」
 - ③11月17日「産育習俗と異界・他界」
 - ④11月23日「盆行事と他界観」
 - ⑤12月7日「他界観の変遷」
- 時間は①を除き午後1時30分～午後3時です。

鬼っこわんぱく講座鬼剣舞体験

- 1月5日(日)・12日(日)・19日(日)・26日(日)
 - 2月1日(土)・2日(日)
- お面づくり・踊りの練習「刀剣舞の狂い」発表



冬休みワークショップ

- 12月23日(月)・26日(木)・1月7日(火)
- 9日(木)・11日(土)・13日(月)

※「鬼剣舞体験」と「冬休みワークショップ」は日程が変わる場合もあります。

福豆鬼節分会

平成25年2月2日(日)予定

「福はうち、鬼もうち」の掛け声で豆まきや餅まきを行い、一年の福を呼び込みます。各種ゲームや芸能公演、木ボラの習俗儀礼等内容盛りだくさんの冬まつりイベントです。入場無料。

※常設展・特別展の見学は有料となります。



鬼の里だより

●企画展・特別展

<特別展>「鬼と玩具と土産もの」

4月27日～8月18日 4,140人

●大乗神楽大会

6月10日(日) 観客 294人

●鬼ッズ・プレイミュージアム 4月1日～9月30日

和紙面づくり 参加者119人

出前講座7件 参加者234人

<夏休みワークショップ>

鬼剣舞面づくり 7月27日・8月5日 参加者 24人

まんげきょうづくり 8月7日 参加者 23人

冷え冷え妖怪うちわづくり 8月11日 参加者 19人

●鬼の館芸能公演

4月28日 北藤根鬼剣舞 観客 175人

5月3日 相去鬼剣舞 観客 149人

5月4日 口内鬼剣舞 観客 172人

5月26日 鬼柳鬼剣舞 観客 201人

6月2日 滑田鬼剣舞 観客 135人

6月23日 御免町鬼剣舞 観客 133人

7月28日 谷地鬼剣舞 観客 170人

8月3日 岩崎鬼剣舞 観客 420人

8月14日 岩崎鬼剣舞 観客 296人

8月25日 黒岩鬼剣舞 観客 152人

9月22日 口内鬼剣舞 観客 176人

●鬼っこわんぱく講座

5月5日子どもの日わくわくイベント

参加者642人

●逢魔が時ナイトミュージアム 8月7日・8日・9日

観客 317人

利用案内

開館時間 午前9時から午後5時まで。
なお、入館は午後4時30分まで。

- 休館日
- ・12月～3月の月曜日
 - ・12月～3月の国民の祝日の翌日
(土・日・月曜日の場合は火曜日)
 - ・館内整理日(11月27日～11月30日)
 - ・年末年始(12月28日～1月4日)

入館料	一般	500円(400円)
	高校生	240円(180円)
	小中学生	170円(120円)

()内は20人以上の団体料金。

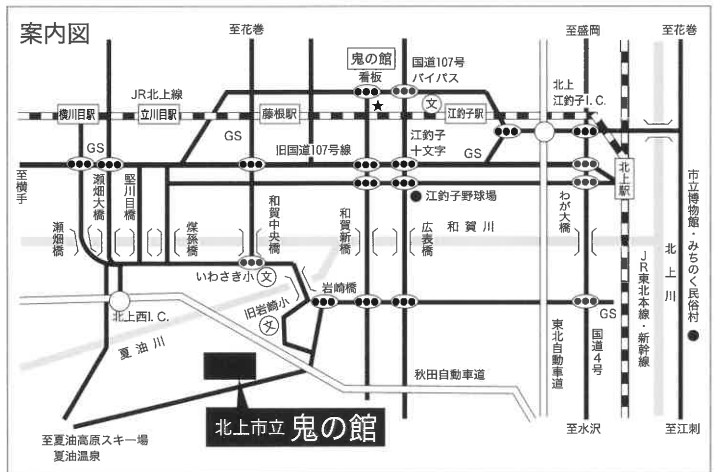
- 交通案内
- ・JR北上駅西口よりバスで25分。
煤孫経由横川目行、瀬美温泉行「岩崎橋」下車
徒歩10分。
 - ・JR北上駅より車で20分。
 - ・東北自動車道「北上江釣子I.C」、秋田自動車道「北上西I.C」よりともに車で15分。

学芸ルームのかたすみで…

早いもので今年度も半分が過ぎました。あわただしく過ぎた春と夏。気づけばもう秋…冬は間近?

当地は雪の量が多いそう、今から心配です。雪に埋もれながら皆様のお越しをお待ちしております。

「鬼の館」冬期も閉館しています。(明)



北上市立鬼の館だより

第39号 2013.10.15

編集・発行 北上市立鬼の館

〒024-0321 北上市和賀町岩崎16地割131番地
TEL 0197(73)8488 FAX 0197(73)8508